

買い物に日常に

6月18日、リードあしやで開かれた「日常を『ユニバーサルマナー』でつなぐ」というワークショップに参加しました。

ワークショップでは「ユニバーサル・ショッピング」について紹介がありました。さまざまな理由があつて買い物を諦めてしまっている人でも、安心して買

の藤井智生さんに話を聞きました。
ユニバーサル・ショッピングの取り組みの一つとして2019年、たつの市で障がい者疑似体験して買い物を試みる体験会が開かれました。

コープ・藤井さんが思い描くお店

参加した人たちはヘッドフォンや目隠しをし、耳が聞こえない、目が見えない

想いに寄り添い対応

アテンド体験踏まえ、接客を工夫

状況の中でお店を回り、どうすればより買い物がしやすいか、改善策を考えたいと話していました。



ユニバーサル・ショッピングの体験会で、お店の従業員はアテンド体験を行いました。取り組みを通して「買い物を行う中で自然にお手伝いをするので心をつなぐことができたと藤井さんは話します。

「当事者にどう関わってもらうかが難しく、支援している団体からの協力が大切だ」とも話していました。

障がいのある人の想いに寄り添い、どのように取りかかればよいか、アテンドの経験を踏まえて工夫しているそうです。「利用しやすいお店をつくることで、日々の暮らしの中で大切な買い物がしやすい地域づくりに繋がりたい」と話していました。

